

文化紹介

『携帯決済』

◎黄中国語交流員による文化紹介です。

5月の連休を利用して、一時帰国をしました。大学時代の日本人の先生を招待して、一緒に上海市、蘇州市などを観光してきました。移動手段は列車、高速バス、タクシーでした。中国では列車、高速バスなどを利用するときは事前に切符を購入する必要があります。

以前、私たちは発売日に窓口まで行って、長い行列に並んで切符を手に入れていました。大学時代、春節帰省の切符を買うために、朝の四時から窓口に並んだ経験もあります。しかし今回は、一切並ばずに切符を買うことができました。携帯決済のおかげです。今回は中国へ帰る前にネットで列車と高速バスの切符を予約して、中国到着後は、利用する駅の自動販売機で発券し乗車しました。日本の携帯ですので、中国にいる期間中は携帯使用料が高いため、いつもFree Wi-Fiが繋がるところだけで利用していました。蘇州を観光したとき、タクシーに乗り、現金で支払おうとすると、運転手さんから「携帯で払ってもらえないか、おつりがないから。」と言われました。この言葉は今回の帰国中、最も多く聞いた言葉です。家族や友達にこのことを話すと、みんなに笑われました。「今、何千元も持って移動するのはあなただけだよ。私たちは外出するとき財布なんかもっていかないよ」。

このように携帯決済機能のおかげで現金を持ち歩く必要がなくなりました。中国在住の私の妹たちは普段の生活の中で、大きなデパートから屋台まで、ほとんど現金なしで買い物できています。

